

本日 (1月27日)

12時05分～
本庁東側前庭

要求実現・1月闘争勝利!
地公三者共闘会議
昼休み総決起集会
組合員の総参加で固い決意を示そう!



ALL FOR ONE
ONE FOR ALL

1月闘争 明日(28日)1Hスト配置 限界にある職場・生活実態を受けとめよ!

— 本日、最終交渉で諸要求の前進をめざす —



▲3万筆を超える組合員・家族の思いを込めた署名を副知事に提出。1月22日、本庁9F交渉室。

健康診断の充実、健康管理関係や公宅修繕費の予算確保など当初予算課題。ビルト要求を中心的に業務量等に見合つ人員配置や欠員補充、職員数適正化計画の撤回・修正などの機構改革課題。採用困難職種や非常勤職員の待遇改善、赴任旅費の改善、人工透析休暇の重要課題であり、最終交渉での前進回答を強く求めています。

地公三者共闘課題

給与独自削減の1年延長反対と停止・圧縮、福利厚生予算確保、業務実態等に応じた人員確保などを重点課題とする「1月闘争」は、明日(28日)の山場を前に正念場を迎えています。道当局は今日段階でもなお、私たちの切実な要求に応えた回答を示しておらず、最終交渉での前進回答をめざします。本日の昼休み総決起集会をはじめ、各種取り組みに最後までの総結集をお願いします。

不満です。

また、査定昇給の運用凍結解除に向けた強硬姿勢を崩しておらず、現給保障措置の継続についても、「検討中」との域を出てなく、これら課題の前進と併せ、最後まで人件費に頼らない道財政運営の確立を求めていきます。

全道庁労連課題



共同編集
自治労全道府県連室
本部総支部教宣部
札幌市中央区北3西6
(TEL) 231-4143
内線 33-6111

No. 2143

2014年1月27日

総結集を!

◎27日(月)…本日
…超勤拒否
…早朝退庁時、ビル配布
副知事・職員監最終交渉
出張・諸会議の拒否

2月 超勤縮減 強化月間

命令なし超勤
未払い超勤の一掃!

- ◎毎週水・金曜日は
NO残業デー（超勤点検）
- ◎10日・19日・21日・26日は
NO残業デー
(超勤拒否に準ず)

2月は超勤縮減強化月間です。
全職場で、健康的で休暇も取りやすい職場環境づくりに向け、職場安全衛生委員会の開催など、取り組みの強化をお願いします。



雇用規制緩和に反対する 札幌市民集会

○とき 2月10日(月) 18:30開演
○ところ エルプラザ3階大ホール
(札幌市北区北8条西3丁目)

○講演 講師 竹信 三恵子さん
(和光大学教授)

第37回紀元節復活反対! 2.11道民集会

2月11日(火) 10時~12時
さっぽろ芸術文化の館(旧厚生年金)3F
(中央区北1条西12丁目)

講演:「99%の戦争支持・協力者と
1%の戦争批判・抵抗者」
講師:小樽商科大学教授 萩野富士夫さん

1/23札幌總支部青年部定期大会を開催
-青年部として8年ぶり(2006年11月以来)再建-

運動の テーマは 『交流・学習・実践』

青年部長に中村貴司さん(保健福祉
總支部)が就任



「『交流・学習・実践』をテーマに、職場青年層の声を受けとめた青年部運動を再構築しよう…」

1月23日、約8年ぶりとなる札幌總支部青年部大会が、24名の組合員が参加し総支部会議室で開催されました。青年部組織は新規採用の抑制による青年組合員の減少や、定数削減によって生じた業務量の増加など、「職場の現実」に起因した運動低下が進み休止状態となっていました。

ましだが、昨年からの新規採用の増や若年層対策の強化が求められている中で、再建となりました。青年部は30歳以下の組合員での構成となります。民間と比較しても大幅に低めの組合員数を数えます。民間と比較しても大幅に低めの組合員数を数えます。青年部運動の強化発展に向け、各支部・労組の皆さんのご協力と、暖かい叱咤激励をお願いします。

1/15~21 札幌總支部「部(局)長交渉」を実施

現場責任者として 基本姿勢・知事上申を確認

-疲弊する職員の生活実態に理解示す-



▲総務部交渉。1月15日、本庁9F交渉室。



▲環境生活部交渉。1月20日、本庁5F共用会議室。



▲石狩振興局交渉。1月17日、別館8F1号会議室。



▲教育庁交渉。1月21日、別館QF1号会議室。

交渉では、職員・家族の厳しい生活実態や職場状況を訴え、健康被害が進み長期療養者も多くの職場で発生していることを指摘。職員の切実な声を受けとめた、現場責任者としての基本姿勢を質しました。

総体的には、道の財政状況等を理由に具体性に欠ける回答となりましたが、職員の疲弊する生活実態や職場実

態について理解を示し、組合とともに十分な話し合いを通じて決着が図られるよう、現場責任者の立場から上申することを確認してきました。

最後に、職員の声を真摯に受けとめ、特に実施期間の1年延長など約束違反の独自削減については、撤回するよう強く知事に働きかけることを要請し交渉を終えました。

札幌總支部は1月15日~21日、独自削減の停止・圧縮、福利厚生事業の予算確保、適正な人員配置など、重点課題について各部交渉(全12部・局)を各部と連携のもと実施。現場責任者としての基本姿勢を質し、知事への上申を追及してきました。